

プロセントラム ミカンス(渦鞭毛藻)

(*Prorocentrum micans*)

ゆっくりと回転しながら泳ぐ

100 μ m

頂刺(大きい) 鞭毛(2本)

幅が広い(長さの1/2以上)

細胞の軸(まっすぐ)

後端はやや尖る

遊泳方向

小さい

類似種1
プロセントラム トリエスティナム

- ◆ サイズが小さい(18~22 μ m)
- ◆ 細胞の軸がわずかに弧状

軸(やや弧状)

類似種2
プロセントラム グラシル

- ◆ 細胞の幅が狭い(長さの1/2以下)

幅が狭い(長さの1/2以下)

類似種3
プロセントラム シグモイデス

- ◆ 細胞の軸がややS字状(左右の輪郭が非対称)
- ◆ 細胞の幅が狭い

軸(S字状)

大きさ 長さ35~70 μ m、幅20~50 μ m

形態 色は黄褐色~茶褐色。細胞は扁平で、向かい合わせに2枚の皿状の殻が合わさった形をしている。正面から見ると卵形で、前端は丸みを帯びるか、やや平坦で、後端はやや尖る。前端に大きな頂刺(ちょうし)と呼ばれる棘がある。頂刺の根元付近にある鞭毛孔(べんもうこう)から2本の鞭毛が伸びる。細胞の幅が広く、長さの1/2以上ある。細胞の軸はほぼまっすぐである。類似種とは、細胞のサイズ、細胞幅、細胞の軸の状態、などで区別できる。

動き ゆっくりと回転しながら泳ぐが、動かないことも多い。

漁業への影響：魚介類には基本的に無害とされているが、赤潮に伴う海域の貧酸素化に注意が必要である。また、マガキの着色現象(赤変カキ)の原因になるとされる。マガキの中腸腺(ちゅうちょうせん)と呼ばれる消化器官が赤色に変色したり、むき身にしたマガキの内臓から赤色の液がにじみ出たりして、商品価値が低下する危険性がある。

漁業被害：平成4年、5年などに赤潮が発生しているが、漁業被害はなかった。

発生海域：伊勢湾~熊野灘沿岸

発生時期：5~10月頃